



知ろう! 食べよう! みえのもん!



第3土曜日・日曜日は「みえ地物一番の日」!

県では、家庭の日である毎月第3日曜とその前日の土曜日を「みえ地物一番の日」として設定しています。

また、子ども達に地域の農林水産業に親しんでもらうため、「みえ地物一番給食の日」を設け、地元の食材や郷土料理等を活

用した給食を提供する取組をすすめています。

この機会に、毎日何気なく食べている食材から、その背景にある地域の農林水産業や食文化について、考えてみてはいかがでしょうか。

「みえの安心食材」を食べよう!

「みえの安心食材」とは、人と自然にやさしい方法で作られた三重県産の生産物を認定する三重県独自の制度、「人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度」で認定を受けた食材です。

認定品には、認定マークが表示されていますので、お近くの直売所やスーパーなどで探してみてくださいね。



公式ウェブサイト
生産者や販売場所のご紹介、生産者インタビューや時短レシピの動画を公開しています



- 3つのポイント
- ① 自然へのやさしさが、人へのやさしさ
化学肥料・化学農薬の使用を減らす、たい肥の循環活用をする、品質・衛生管理を徹底するなど、人と自然にやさしい方法で生産されています。
 - ② 大切なのは、生産者の顔が見えること
ウェブサイトで認定マークの登録番号を検索すると、生産者や作り方を知ることができます。
 - ③ きちんとチェック
第3者機関が定期的に現地におもむき、生産方法などをしっかりチェックしています。



地物を買うなら直売所!



「みえの産直マップ」では三重県内の直売所・青空市の場所、営業日、主な取り扱い品目、おすすめ品などの情報を公開しています。

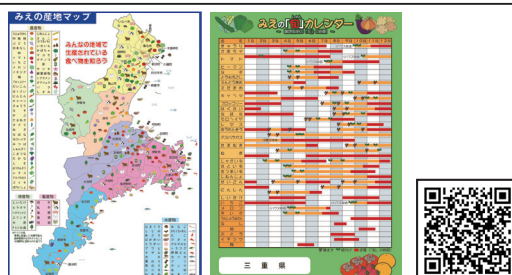
デジタルマップなので、現在地付近にある直売所等について知ることができます。

これまで訪れたことのない直売所等には、まだ見たことのない地物との出会いがあるかもしれません。ぜひ、県内の直売所等に足を運んでみてください。



三重の農林水産物

三重県には伊勢平野や上野盆地の肥沃な農地、鈴鹿山系から大台山系に至る森林、伊勢湾から熊野灘までの豊かな漁場があり、様々な農林水産物が生産されています。



三重ブランド～人と自然の力～

三重県の豊かな自然・伝統など、地域の特性を生かした生産物のなかから特に優れた「産品と生産者」を認定しています。認定品には「自然を生かす技術（人と自然の力）」が脈づいています。



やっぱり地物が一番!

～いいこといっぱい! 地産地消!～



このマークを見かけたことはありますか?

「地物一番」は、三重県産品に触れる機会を増やし、親しんでいただくためにできた地産地消のシンボルです。

三重県産の農林水産物を使った商品やメニュー、地物が並ぶ特設コーナーやイベントのポスター等、さまざまな所に「地物一番」が使われており、三重県産品をPRしています。

このマークを目印に、「地物」を手にとってみませんか?

三重のもの発見!

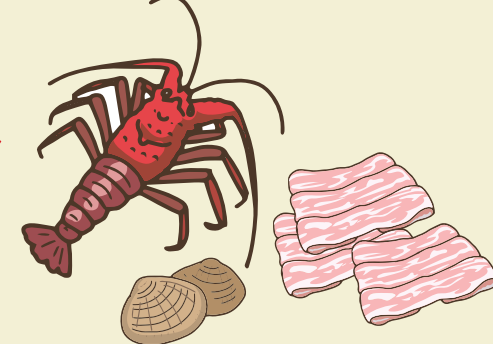


三重県 農林水産部 フードイノベーション課

Tel: 059-224-2395 Fax: 059-224-2521 E-mail: foods@pref.mie.lg.jp 令和7年作成



～いいこといっぱい！ 地産地消！～



どんな
いいことが
あるの？

買う人と作る人の
距離が近いから
顔が見える＝**安心感**

安心

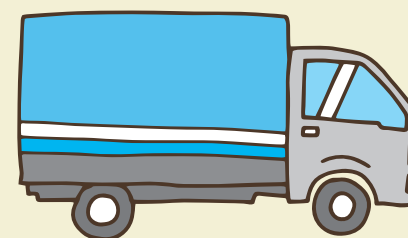
新鮮

輸送時間が短いから
新鮮！



輸送に必要なエネルギーや輸送で
発生するCO₂を減らすことができるから
環境に優しい！

環境



元気

地元食材を活用したメニューや商品で
観光客を集めることができるので

地域産業が元気に！

地元のものを選ぶことで
地元を応援できる！

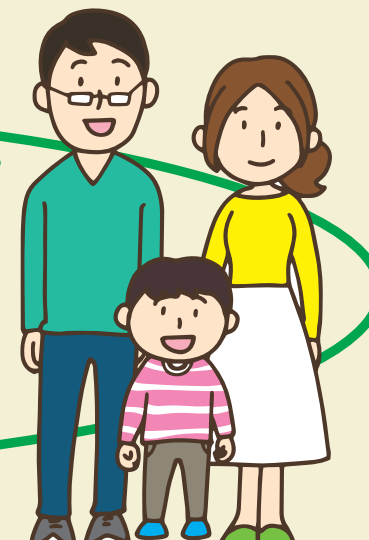
暮らし

地域農林水産業の活性化で農地や森林を
守ることにつながるから、
**地域の美しい景観や自然環境が
守られる**

田んぼや森林の貯水機能などで洪水
などの**災害防止**につながる



作る人と食べる人が支え合う社会に！
**未来の持続的な
食料生産につながる！**



地産地消で未来の 食や環境を守ろう

みなさんが安心しておいしく食べている
日本の農林水産物。現在、農林水産業
は燃料や肥料、飼料などのコストの上
昇、後継者の不足など、続けることが
難しくなっています。今、あたりまえ
に食べているものや、地域の美しい田
畑の風景が、将来なくなってしまうか
もしれません。
そんな厳しい状況の中、おいしいもの
を届けたいと毎日がんばっている人た
ちがいます。
食べることが一番の応援になります。
地元のものを選んで食べて、あなたも
応援しませんか？
地元のものを買う。その選択が未来の食
や自然環境を守ることにつながります。

